

---

## 「ダムを造らない社会へ ハツ場ダムの問いかけ」

上野英雄 編、新泉社、2013年

230頁、2,100円（本体）

ISBN 978-4-7877-1218-9

ハツ場ダムを中心的にとりあげて、不要なダムはなぜ止まらないのか、不要なダムを造らない社会にするために改めるべきもの、必要なものについて、河川工学だけでなく、河川行政や地方財政の専門家、さらにダムを跳ね返してきた方々の実践が述べられている。

ハツ場ダムの治水・利水の問題点は、私たちにお馴染みの鳴津暉之氏がわかりやすく記述している。私にとって新鮮であったのは、公共事業論の専門家である五十嵐敬喜氏が、公共事業を中止す

るための過程や手続きについて述べたことである。ジャーナリストのまさのあつこ氏は、アメリカの進んだ仕組みを紹介し、協会の自然保護講演会でダム問題についてわかりやすい講演をしていた宮本博司氏が「住民の声を聞かない河川官僚」と題して河川法の問題点を示している。その他にも地域住民の声や全国で計画されているムダなダムに対する取り組みも紹介されている。

協会に連絡いただければ、著者割(1,680円、送料は別)で購入できる。(佐々木克之)